

経験を仲間へ伝えさらなる飛躍を

バレーボール女子
岩手選抜ジュニア

古川 桜さん(右)

フルカワ・サクラ 松尾中2年 〓小屋の沢 〓

山本 千紗さん

ヤマモト・チサ 松尾中2年 〓立石 〓



2人は、県バレーボール協会の国体強化事業の一環『岩手選抜ジュニア』のトライアウト(9月28日実施)に参加。合格者24人のうち、松尾中学校から2人選出される快挙を達成。自校の部活動に励みながら、月1回行われる同選抜チームの練習に汗を流す。

「精神面を見られる試験で緊張した」と、同じ感想を持ったのは、県バレーボール協会が中学生から選出する『岩手選抜ジュニア』のトライアウトに合格した古川桜さんと山本千紗さん。小学生の時から同じスポーツ少年団に所属していた2人。競技を始めたきっかけを「両親、姉がバレーをやっていた影響と何よりも楽しかったから」と、語るのは古川さん。一方、山本さんは「テレビで見た日本代表の木村沙織選手に憧れて」と、はにかみます。古川さんは、1年生の時から同選抜に合格しており「今年は責任感を持ち、選抜の中でもみんなを引っ張る存在を目指したい」と、意欲を燃やします。また、今回初合格の山本さんは「初めての練習方法に慣れ、



新人戦でスパイクを打つ古川さん(11月15日、滝沢市・東部体育館)

ブロック技術の強化を図りたい」と、目標を掲げます。また、2人は「盛岡地区で行われる練習に送り迎えをしてくれる家族に感謝したい」と、声をそろえます。部活については「自分も含め、勝つ」という意識をもっと持ちたい」と、飛躍を誓う古川さん。山本さんは「選抜での経験を生かしたい」と、意気込みます。最後に2人は「松尾中バレー部の応援もよろしくお願ひします!」と元気な声でアピールしました。

今月の表紙 新しい庁舎ができたよ!

新庁舎の開庁式が11月25日、新庁舎正面玄関前で行われ、松野保育所園児16人がくす玉を割りました(関連2、3頁)。

式典には、関係者ら約120人が出席。合併に伴う最重要事業のひとつである新庁舎の完成を祝いました。出席者は、合併協議会事務局職員として、新庁舎建設にも深く携わった岡田久副市長のエピソードを交えた経過報告に聞き入っていました。



新庁舎完成までの経過に耳を傾ける出席者

編集後記

ついに新庁舎での業務が開始され、1週間が過ぎました。新しい庁舎では、あの部屋はどこにあったのだろうか? など戸惑うこともありますが、1日も早く慣れ、スムーズに仕事に取り組んでいきたいところです。▽新庁舎が開庁しているところを何度か見掛けます。新庁舎ということで、何かとご不明な点が多いと思いますので、その際は、気軽に職員にお問い合わせください。(佐々木)